1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現4

担当教員 大石恵美子

受講アトリエ [601,602,(901)] 修得単位： 単位

2021/10/20(水)- 2021/12/01(水)

11:10-12:40

授業内容

【課題1】 「映画・動画」「漫画・アニメ・本」「芸術家」「美術館・博物館・ギャラリー」
これら4つのジャンルの自分の好きなベスト3を「文章と画像」などで魅力的に紹介する。

【課題2】 課題1で紹介するために用いた画像の中から1つを選び、
そこからインスピレーションを受けた作品を作る。

詳細は初日に説明します。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月20日	水	○	課題説明		実技カリキュラム	
2	10月27日	水	○	【課題1-1】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
3	11月10日	水	○	【課題1-2】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
4	11月17日	水	○	【課題1-3】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
5	11月24日	水	○	【課題1-4】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
6	12月1日	水	○	【課題2】提出・鑑賞		実技カリキュラム	

学習目標

知る見る感じる、そして創る。いろいろな物事を知り、しっかり見て刺激され、何かを感じて欲しい。「見る知る感じる」をできるだけたくさん体験して欲しい。「これが好き」を増やしてほしい。そこから影響を受けて、自分の栄養にして、どんどん創作する意欲につなげて欲しい。これまでの自分を掘り下げつつ、これからの自分を拡大するトレーニングです。

予習・準備物

自分の好きな「映画・動画」「漫画・アニメ・本」「芸術家」「美術館・博物館・ギャラリー」をリストアップし、それらを人に説明する際に使いたい画像を集めておいてください。

注意事項

評価方法

作品提出により採点する。

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

テンペラ画

担当教員 安藤孝浩、工藤礼二郎

受講アトリエ 【601・602】 修得単位：1単位

2021/10/13(水)- 2021/10/27(水)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

木材板の基材に地塗りをしてパネルを作る。卵テンペラ（水性画材）をつくり、描画材として絵画模写をする。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月13日	水		視覚美術史 感性と表現3	○	オリエンテーション、下地作り、下絵（転写）	
2	10月14日	木		Mac講座B	○	下絵（転写）金箔分け、ボーロ塗り、	※進捗状況に応じて適宜内容変更
3	10月15日	金		日本美術史B 英会話	○	ボーロ塗り、金箔貼り	"
4	10月16日	土		自主制作/フランス語	○	"	"
5	10月17日	日					
6	10月18日	月		自主制作	○	卵テンペラによる描写	
7	10月19日	火		自主制作	○	"	
8	10月20日	水		視覚美術史 感性と表現4		"	
9	10月21日	木		Mac講座B		"	
10	10月22日	金		日本美術史B 英会話		"	
11	10月23日	土		自主制作		"	
12	10月24日	日					
13	10月25日	月		自主制作	○	"	
14	10月26日	火		自主制作	○	"	
15	10月27日	水		視覚美術史 感性と表現4	○	講評会	

学習目標

中世美術からルネッサンス期を経て現代にまで受け継がれてきた卵テンペラ技法を学ぶ。卵で作る絵具の造形の自由さ、楽しさを学ぶ。ここでは技法と描写の関係を理解し、絵画表現の幅広い可能性を追求する。絵画模写をしながらテンペラ技術の基礎と応用を修得する。

予習・準備物

面相筆、細筆、絵皿、鉛筆

注意事項

評価方法

提出課題による採点と授業態度も評価に加味する（作品評価50点 授業態度50点 合計100点満点）

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

フレスコ画

担当教員 杉崎匡史

受講アトリエ 【901・602】 修得単位：1単位

2021/10/13(水)- 2021/10/27(水)

9：30-12：40 13：30-16：30

授業内容

古典技法としてのフレスコ画技法を模写を通して試みる。物質が変化していく、その体験を目の当たりにしながら、実直に絵と向き合う時間に身をゆだね、その中で自身の展開に繋がられるのか考えてみる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月13日	水		視覚美術史 感性と表現3	○	ガイダンス・フレスコ剥がし・原画選択・拡大コピー	
2	10月14日	木		Mac講座B	○	モルタル作り・地塗り・壁荒らし	空き時間に拡大コピー続き
3	10月15日	金		日本美術史B 英会話	○	モルタル再練り・カルトネ制作	空き時間に顔料練り
4	10月16日	土		自主制作/フランス語		カルトネ制作・顔料練り	タンポ用意
5	10月17日	日					
6	10月18日	月	○	モルタル再練り・中塗り・シノピア		シノピア・壁荒らし	ジョルナータ決め
7	10月19日	火	○	モルタル再練り・上塗り①・描画①		描画①・ジョルナータ線削り	
8	10月20日	水		視覚美術史 感性と表現4	○	上塗り②・描画②・ジョルナータ線削り	
9	10月21日	木		Mac講座B	○	モルタル再練り・上塗り③・描画③・ジョルナータ線削り	
10	10月22日	金		日本美術史B 英会話		上塗り④・描画④・ジョルナータ線削り	
11	10月23日	土	○	モルタル再練り・上塗り⑤・描画⑤		描画⑤・ジョルナータ線削り	
12	10月24日	日					
13	10月25日	月		モルタル再練り・上塗り⑥・描画⑥		描画⑥・ジョルナータ線削り	
14	10月26日	火		モルタル再練り・上塗り⑦・描画⑦		描画⑦・完成	
15	10月27日	水		視覚美術史 感性と表現4	○	片付け・講習会	

学習目標

油彩画以前の一つの古典技法であるフレスコ画技法は、消石灰と砂を混ぜたもので漆喰壁を作り、その壁が乾き切らぬうちに顔料を水のみで溶いて描ききるもので、空気中の二酸化炭素と反応した石灰成分が顔料を閉じこめ、半永久的に壁画は色褪せることがない。壁や石灰といった素材の強さにおいては代え難いものがあり、光沢の無い自然な質感や、制約の中で必要とされる高い集中力、五感だけでなく身体を目一杯使って体感することなど、その中に潜む一つの可能性を探求する。

予習・準備物

プチパレット、ペーパーパレット、やわらかい丸筆平筆・彩色筆・刷毛(小)・面相筆など、(豚毛不可)、筆洗用具(大)、汚れても良い服装、箱ティッシュ、ペインティングナイフ、サランラップ、マスキングテープ、ハンドクリーム等

注意事項

制作工程を踏まないとフレスコになりません

評価方法

提出課題による採点、制作への工夫、共同作業への積極的な参加

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

銅版画基礎

担当教員 長島 充

受講アトリエ 【901・602・工房】 修得単位：2単位

2021/09/29(水)- 2021/10/12(火)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

腐食銅版画の中で最も基本的な技法であるライン・エッチング技法によりモノクロームの銅版画1点(18×24cm)を制作します。ドローイングにも感覚の近い線描と点描を用いて自然物を観察し銅板という物質に表現していきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月29日	水		感性と表現3	○	オリエンテーション	ガイダンス+版の準備
2	9月30日	木	○	制作指導	○	制作指導	描画+腐食指導
3	10月1日	金		日本美術史B 英会話		自主制作	
4	10月2日	土		自主制作	○	制作指導	試し刷り指導
5	10月3日	日					
6	10月4日	月		自主制作	○	制作指導	試し刷り～再彫版
7	10月5日	火		自主制作		自主制作	
8	10月6日	水		視覚文明史 感性と表現3		自主制作	
9	10月7日	木		Mac講座B	○	制作指導	試し刷り～再彫版
10	10月8日	金		日本美術史B 英会話		自主制作	
11	10月9日	土		自主制作/フランス語		同窓会講座	
12	10月10日	日					
13	10月11日	月		自主制作	○	制作指導	本刷り指導
14	10月12日	火		自主制作	○	講評会	採点

学習目標

銅版画の基本的なエッチング技法での制作により版画に親しんでもらう。「自然物」をモチーフに線描と点描によるモノクロームの描写力・表現力を養う。

予習・準備物

初日のガイダンスの日にテーマ「自然物」をモチーフとした版と同サイズ(18×24cm)の下絵を各自制作し、必ず持ってくること。

注意事項

工房使用にあたって、薬品類、プレス機、工具類など危険を伴う物もあるため、使用するときは講師や助手の指示に従うこと。

評価方法

課題作品70%(描写力と表現力)、制作姿勢など30%

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

シルクスクリーン基礎

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ 【601・602・工房】 修得単位：2単位

2021/09/29(水)- 2021/10/12(火)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙8枚程度）制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月29日	水		感性と表現3	○	オリエンテーション、技法説明	
2	9月30日	木		制作		制作	
3	10月1日	金		日本美術史B 英会話	○	技法説明(製版)	
4	10月2日	土	○	技法説明(刷り)	○	制作	
5	10月3日	日					
6	10月4日	月		制作		制作	
7	10月5日	火		制作	○	制作	
8	10月6日	水		視覚文明史 感性と表現3		制作	
9	10月7日	木		Mac講座B	○	制作	
10	10月8日	金		日本美術史B 英会話		制作	
11	10月9日	土		制作/フランス語		同窓会講座	
12	10月10日	日					
13	10月11日	月		制作	○	制作	
14	10月12日	火		制作	○	講評会	

学習目標

シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わされて改良されたものです。枠に張った紗の目を unnecessaryな部分は塞ぎ、画の孔(穴)の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。

予習・準備物

下絵、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス(ボロ布)、新聞紙、用紙(いずみ中判4枚またはA3厚紙ケント紙8枚分)、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙(なんでも可)

注意事項

初日までに下絵(アイデアスケッチ)を用意すること。

授業では汚れても良い格好(エプロン等)をしてください。

評価方法

習熟度と提出課題による採点

感性と表現3

担当教員 高倉公美

受講アトリエ [601,602,(901)] 修得単位： 単位

2021/09/08(水)- 2021/10/13(水)

11:10-12:40

授業内容

アニメやゲームの世界を衣装の観点からみてゆく。アニメのみならず憧れのファッションスタイルでも可。全員デザイン画を描き提出し実現可能か検証する。次に、一つのことに焦点を当てて提案する重要さを考えてゆく。今回はポケットの奥深さを体験していただき、実用可能な作品を作ってゆき、発表する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月8日	水	○	二次元デザインと三次元デザインの考え方		実技カリキュラム	デザイン画を描く
2	9月15日	水	○	デザイン画を基に生地を決めていく、その考え方		実技カリキュラム	スワッチを準備
3	9月22日	水	○	一つのテーマに絞る考え方、他者から分かりやすく		実技カリキュラム	ポケットについて
4	9月29日	水	○	ポケットをつけていく		実技カリキュラム	自前の服準備
5	10月6日	水	○	作品完成後写真撮影		実技カリキュラム	
6	10月13日	水	○	写真発表、審査、感想文		実技カリキュラム	

学習目標

クリエイターになるための考え方(アイデアや企画)や社会との関わり方の知識を感じ得てもらいつつ、実技では自分のデザインを衣装観点から形にしてゆく。二次元デザインは現実に落とし込めるのか、の検証をする。

予習・準備物

第一回目のプリントアウトは学校で出来ますか?第二回から”生地の端切れ、ホチキス”、第3回目は自前の服に自分で考えたポケットを縫う→”手縫いは可能?又は布ボンド、布両面テープ”。第5回目に写真撮影をしたいのでカメラマンを呼びたいがプロでもアマチュアでも。常にプロジェクターは使用したい。

注意事項

評価方法

作品提出、最終提出の文面により採点する。

前期ファインアート科基礎

担当教員 工藤礼二郎、鈴木吐志哉

受講アトリエ [901・902] 修得単位：2.5単位

2021/09/02(木)- 2021/09/28(火)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

①絵画の表面：絵画の特徴的要素に「マチエール(絵肌)」があります。単なる絵の具がマチエールを通して絵画としての魅力にどのように繋がるかを体験してみましょう。

②写真と絵画：19世紀に確立された「写真」は絵画にも多大な影響を与えました。この授業では「写真のように描く」といった直接的な手法ではなく写真の中の要素をいかに「絵画化」するかを考えてみます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月2日	木		Mac講座A	○	オリエンテーション/素材集め	担当：工藤
2	9月3日	金		日本美術史A 英会話	○	コラージュ制作	担当：鈴木
3	9月4日	土		フランス語	○	コラージュ制作/タブロー制作	担当：工藤
4	9月5日	日					
5	9月6日	月		文章技法論	—	自主制作	
6	9月7日	火	—	自主制作	○	タブロー制作	担当：鈴木
7	9月8日	水		感性と表現3	○	タブロー制作	担当：工藤
8	9月9日	木		Mac講座A	—	自主制作	
9	9月10日	金		日本美術史A 英会話	○	タブロー制作	担当：工藤
10	9月11日	土		フランス語	—	自主制作	
11	9月12日	日					
12	9月13日	月		文章技法論	○	中間講評	担当：工藤・鈴木
13	9月14日	火	○	素材集め	○	タブロー制作	担当：AM鈴木・PM工藤
14	9月15日	水		感性と表現3	—	自主制作	
15	9月16日	木		Mac講座A	○	タブロー制作	担当：鈴木
16	9月17日	金		日本美術史A 英会話		後期ガイダンス	
17	9月18日	土		創立記念日振替日			
18	9月19日	日					
19	9月20日	月		敬老の日			
20	9月21日	火		デビュー展講評会			APM全専任
21	9月22日	水		感性と表現3	—	自主制作	
22	9月23日	木		秋分の日			
23	9月24日	金	—	自主制作	○	タブロー制作	担当：工藤
24	9月25日	土		フランス語	—	自主制作	
25	9月26日	日					
26	9月27日	月		文章技法論	○	タブロー制作	担当：鈴木
27	9月28日	火	—	自主制作	○	講評会	担当：工藤・鈴木

学習目標

現代の絵画や版画に強い影響を与えた西洋近代絵画の種々の表現に触れ、絵に対する視野を広げながら描くことの楽しさを見つける授業です。

予習・準備物

アクリル、油彩用具など必要に応じて学生が準備する。 キャンバスF8号各自2枚支給。

注意事項

講師の指導日は講師が出席を取りますが、指導日以外でも授業日は助手が出席を取ります。

評価方法

課題提出による採点

前期ビジュアルデザイン科基礎

担当教員 山本哲次、岡山拓史

受講アトリエ [601・602] 修得単位：2.5単位

2021/09/02(木)- 2021/09/28(火)

9：30-12：40 13：30-16：30

授業内容

イラストや文字情報を限られたスペースの中に収めながら、音楽から受けるイメージを広げて、ビジュアルで表現することを学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月2日	木		Mac講座A	○	オリエンテーション	担当：岡山
2	9月3日	金		日本美術史A 英会話	○	制作	担当：山本・岡山
3	9月4日	土		フランス語	○	制作	担当：山本・岡山
4	9月5日	日					
5	9月6日	月		文章技法論	—	自主制作	—
6	9月7日	火	○	中間講評1	○	中間講評1	担当：岡山
7	9月8日	水		感性と表現3	○	制作	担当：山本
8	9月9日	木		Mac講座A	○	制作	担当：岡山
9	9月10日	金		日本美術史A 英会話	○	制作	担当：山本・岡山
10	9月11日	土		フランス語	—	自主制作	—
11	9月12日	日					
12	9月13日	月		文章技法論	—	自主制作	—
13	9月14日	火	○	制作	○	制作	担当：岡山
14	9月15日	水		感性と表現3	○	中間講評2	担当：山本
15	9月16日	木		Mac講座A	—	自主制作	—
16	9月17日	金		日本美術史A 英会話		後期ガイダンス	
17	9月18日	土		創立記念日振替日			
18	9月19日	日					
19	9月20日	月		敬老の日			
20	9月21日	火		デビュー展講評会			APM全専任
21	9月22日	水		感性と表現3	○	中間講評2	担当：山本
22	9月23日	木		秋分の日			
23	9月24日	金	○	制作	○	制作	担当：山本・岡山
24	9月25日	土		フランス語	—	自主制作	—
25	9月26日	日					
26	9月27日	月		文章技法論	—	自主制作	—
27	9月28日	火	○	講評	○	講評	担当：山本・岡山

学習目標

○自分の好きなミュージシャンのCDジャケットとポスターをオリジナルで制作します。

予習・準備物

デザインしたいミュージシャンの選定

注意事項

メインビジュアルはオリジナルで描いたイラストを使用すること。

イラストには人を描かないこと。使用画材は自由。

評価方法

授業態度、中間講評1&2、講評での総合評価

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現2

担当教員 尼子 靖

受講アトリエ [601,602,(901)] 修得単位： 単位

2021/6/9(水)-2021/7/14(水)

11:10-12:40

授業内容

多様な立体表現の可能性を、アート、デザイン、舞台美術等より、コンテンツとしてレクチャー形式で学ぶ。また、実践的な立体表現を、「紙」をメイン素材とした課題で、イメージの創り方、構成、加工方法等の基礎技術を習得する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月9日	水	○	空間表現に関わるアート、デザイン等のレクチャー&課題説明。次回に向けての家庭課題。		構成力	
2	6月16日	水	○	アイデアスケッチを元に、紙で試作を作りながらアイデアを練る。		構成力	
3	6月23日	水	○	アイデアを発表後、調整、決定して制作の段取りを決める。		構成力	
4	6月30日	水	○	制作		構成力	
5	7月7日	水	○	制作～作品完成		構成力	
6	7月14日	水	○	講評会		構成力	

学習目標

自己のクリエイティブな感性、表現の可能性を2次元に留まらず、3次元の世界に視野を広げ、感性の幅を広げることを目標とする。

予習・準備物

学校支給素材A：B3パネル、B3イラストボード、四つ切画用紙@3枚、四つ切ケント紙@3枚、四つ切白ダンボール@1枚、学校準備素材（教室単位で）：両面テープ15こ程度、55&77スプレーのり各3個、スティックのり5個、ホッチキス5個、マスキングテープ10個、画鋏、クリップ人数分。学生持参用具：筆記用具一式、クロッキー帳、カッターナイフ、ハサミ、30cm以上の定規、彩色用具一式、カッターマット（学校にあればそれを使用する）

注意事項

制作時、カッターナイフを使うので、事故の無いように、加工方法、説明を良く聞くこと。

評価方法

作品提出により採点する。

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

MAC講座B

担当教員 高林直俊

受講アトリエ [401] 修得単位：1単位

2021/10/7(木)-2022/2/3(木)
9:30-11:00 11:10-12:40

*Mac講座Bは1限と2限を学生が入れ替わりで授業を行います

後期でも基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識を身につけながら、更にアプリケーションの理解力を掘り下げた授業を行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月7日	木	○	MAC講座Aの復習		実技カリキュラム	おさらい
2	10月14日	木	○	実データに触れる		実技カリキュラム	仕事のデータに触れる
3	10月21日	木	○	実データに触れる		実技カリキュラム	
4	10月28日	木	○	Illustrator_応用A		実技カリキュラム	
5	11月4日	木	○	Illustrator_応用B		実技カリキュラム	Illustratorの応用 (レイアウトなど)
6	11月11日	木	○	Photoshop_応用A		実技カリキュラム	Photoshopの応用 (画像処理など)
7	11月18日	木	○	Photoshop_応用B		実技カリキュラム	
8	11月25日	木	○	【課題 B】ポストカード作成		実技カリキュラム	初日に完成までの流れやポイントなどを説明 表面&裏面：自由 (テーマあり)
9	12月2日	木	○	制作 チェック		実技カリキュラム	
10	12月9日	木	○	制作 チェック		実技カリキュラム	
11	12月16日	木	○	制作 チェック		実技カリキュラム	
12	1月13日	木	○	講評		実技カリキュラム	製作から提出まで完結させる (瞬発力・姿勢・センス・技量・ボキャブラリー・熱量)
13	1月20日	木	○	小課題		実技カリキュラム	
14	1月27日	木	○	小課題		実技カリキュラム	
15	2月3日	木	○	小課題		実技カリキュラム	

学習目標

イラストレーターやデザイナーなどデザイン業界に携わる立場になった際に、印刷物をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。またアーティストや他業種などの道を選ぶにしても自己アピールの際に必要な最低限のスキルを身につけます。

予習・準備物

必要な場合は事前に告知します。

注意事項

課題も大事ですが、出席率は他の授業に比べ重視します。

評価方法

課題作品50% 制作態度・積極性50%

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

視覚文明史

担当教員 太田克彦

受講アトリエ【502】 修得単位：1単位

2021/10/6(水)-2022/2/9(水)

9:30-11:00

授業内容

古代から現代、そして未来までのパースペクティブを、視覚文化という次元から検討する。その分野は文学や演劇、ダンス、ファッションから音楽にまで広げ、それらが美術とどのように関わっているのかを学習する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月6日	水	○	縄文時代の宇宙観		実技カリキュラム	
2	10月13日	水	○	縄文時代の音(土取利之の仮説)		実技カリキュラム	
3	10月20日	水	○	岡本太郎の原点		実技カリキュラム	
4	10月27日	水	○	シンクロニシティ(動物との共感覚)		実技カリキュラム	
5	11月10日	水	○	メタモルフォーゼの試み(フランシス・ベーコン)		実技カリキュラム	
6	11月17日	水	○	闇の力(ラブクラフト)		実技カリキュラム	
7	11月24日	水	○	ファッションの本質(ジョン・ガリアーノの仕事)		実技カリキュラム	
8	12月1日	水	○	戦争とアート		実技カリキュラム	
9	12月8日	水	○	プロパガンダとアート		実技カリキュラム	
10	12月15日	水	○	アール・ヌーボーとアール・デコ		実技カリキュラム	
11	1月12日	水	○	アニメーションの表現(手塚治虫とディズニー)		実技カリキュラム	
12	1月19日	水	○	ルパン三世に見る新しさ		実技カリキュラム	
13	1月26日	水	○	手の表現		実技カリキュラム	
14	2月2日	水	○	目の表現		実技カリキュラム	
15	2月9日	水	○	推敲と習作の重要性		実技カリキュラム	

学習目標

制作上の技術は必須である。しかしそれはあくまでも必要条件。名作と呼ばれている作品には、すべて優れた発想と想像力がある。したがって作品内容をより高めるための発想力を身につける方法を学ぶ。

予習・準備物

注意事項

評価方法

期末に筆記テストを行い、採点

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

日本美術史B

担当教員 北 進一

受講アトリエ【502】 修得単位：1単位

2021/10/1(金)-2022/2/4(金)

9:30-11:00

授業内容

最初に日本絵画の黄金時代とされる桃山時代の絵画、特に狩野永徳と長谷川等伯の絵画などから始まり、俵屋宗達や尾形光琳の琳派絵画など江戸時代の絵画へ展開してゆく過程を探究する。その後、池大雅や与謝野蕪村などの文人画、円谷応挙などの写実派、伊藤若冲などの奇想派や浮世絵師の絵画を取り上げ、江戸絵画の本質を探る。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月1日	金	○	リアルタイム授業：狩野永徳の絵画		実技カリキュラム	
2	10月8日	金	○	リアルタイム授業：狩野永徳の絵画		実技カリキュラム	
3	10月15日	金	○	リアルタイム授業：長谷川等伯の絵画		実技カリキュラム	
4	10月22日	金	○	リアルタイム授業：長谷川等伯の絵画		実技カリキュラム	
5	10月29日	金	○	リアルタイム授業：長谷川等伯の絵画		実技カリキュラム	
6	11月5日	金	○	リアルタイム授業：俵屋宗達の絵画		実技カリキュラム	
7	11月12日	金	○	リアルタイム授業：俵屋宗達の絵画		実技カリキュラム	
8	11月19日	金	○	リアルタイム授業：尾形光琳の絵画		実技カリキュラム	
9	11月26日	金	○	リアルタイム授業：池大雅と与謝野蕪村の絵画		実技カリキュラム	
10	12月3日	金	○	リアルタイム授業：円谷応挙の絵画		実技カリキュラム	
11	12月10日	金	○	リアルタイム授業：伊藤若冲の絵画		実技カリキュラム	
12	1月7日	金	○	リアルタイム授業：狩野一信の絵画		実技カリキュラム	
13	1月14日	金	○	リアルタイム授業：浮世絵の変遷 その1		実技カリキュラム	
14	1月21日	金	○	リアルタイム授業：浮世絵の変遷 その2		実技カリキュラム	
15	1月28日	金	○	リアルタイム授業：浮世絵の変遷 その3		実技カリキュラム	
16	2月4日	金	○	リアルタイム授業：浮世絵の変遷 その4		実技カリキュラム	

学習目標

近世以降の日本美術は、中世までの宗教色の濃い美術から脱し、世俗的で鑑賞性の高い美術へ変貌してゆく。本講は、桃山時代の障壁画や江戸絵画などを取り上げ、独自の色彩と形態を追求してゆく有様を見てゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解読という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。

予習・準備物

無し

注意事項

無し

評価方法

レポート提出

伝統と現代

担当教員 小林大悟

受講アトリエ [601, 602, 901] 修得単位： 単位

2021/4/17(土)-2021/7/17(土)

13:30-16:30

授業内容

ワークショップ形式の課題を通じて、日常的に接する機会の少ない「日本美術」や「伝統」に関わる素材や題材に広く触れていきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月17日	土		語学学科	○	オリエンテーション	
2	4月24日	土		語学学科	○	なが〜い紙にみんなで描こう	
3	5月8日	土		語学学科	○	なが〜い紙にみんなで描こう 続き	
4	5月15日	土		語学学科	○	なが〜い紙にみんなで描こう 仕上げと鑑賞会	
5	5月22日	土		語学学科	○	墨で遊ぼう レクチャー	
6	5月29日	土		語学学科	○	墨で遊ぼう 発展	
7	6月5日	土		語学学科	○	巨大戯画を作ろう レクチャー	
8	6月12日	土		語学学科	○	巨大戯画を作ろう 本番	
9	6月19日	土		語学学科	○	巨大戯画を作ろう 続き&鑑賞会	
10	6月26日	土		語学学科	○	日本画の画材で遊ぼう だるだる・もりもり編	
11	7月3日	土		語学学科	○	日本画の画材で遊ぼう ざらざら・びかびか編	
12	7月10日	土		語学学科	○	日本画の画材で作ろう	
14	7月17日	土		語学学科	○	日本画の画材で作ろう 続きと鑑賞会	

学習目標

「日本美術」を題材に、ときに拡大解釈も混じえながら実技制作を行なっていきます。この授業で重きを置くのは技術習得や作品の出来上がりではなく、不慣れな画材を通じてそれぞれが実験・発見を積み上げていくことです。授業では複数人での共同制作や鑑賞会といった普段とは少し異なる環境も織り交ぜます。授業を通じ日本美術へと関心を持つきっかけをつくり、今後専門分野に分かれても応用していける引き出し作りを目指します。

予習・準備物

筆記用具、汚れても良い服装

注意事項

対面授業は進行状況を鑑みて、内容の前後や多少の変更もあります。（オンライン授業日は原則変更しません）

評価方法

参加意欲と授業態度を重視します。

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

フランス語I

担当教員 内田雅之

受講アトリエ【501】 修得単位：2単位

2021/4/17(土)-2022/1/22(土)

11:10-12:40

授業内容

前期は、挨拶や自己紹介などの簡単な会話表現から始め、そこから派生して実践的な方向へ進んでいく流れを、<ウォームアップのためのダイアログ>として学んでいきます。その過程で生じる疑問を解消する形で初歩的な文法を学んでいきます。後期は前期で学んだ一連のダイアログの習熟を常に忘れないようにしながら、テキストを使用した演習へと移行していきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月17日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
2	4月24日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
3	5月8日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
4	5月15日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
5	5月22日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
6	5月29日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
7	6月5日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
8	6月12日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
9	6月19日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
10	6月26日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
11	7月3日	土	○	会話実習		実技カリキュラム	
12	7月10日	土	○	前期まとめ		実技カリキュラム	
13	9月4日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
14	9月11日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
15	9月25日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
16	10月9日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
17	10月16日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
18	10月30日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
19	11月13日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
20	11月20日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
21	11月27日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
22	12月4日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
23	1月8日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
24	1月15日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
25	1月22日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	

学習目標

全くの初心者を対象としてフランス語の初級文法や初歩的な会話表現を学びます。講義ではCDを常に使用しながら音声に慣れつつ、コミュニケーション・ツールとしての側面を最初から意識していきます。また、関係項目のプリントなども配布しながら、文化的側面に広く触れ、ともに考える機会となることを心掛けていきます。

予習・準備物

ノートと筆記具は常時必要になります。

注意事項

初回の授業で詳しいガイダンスを行います。

評価方法

出席が重視され、教場での平常点が主な評価となります。また、前期・後期のまとめの回の出席は単位取得の絶対条件になります。

表現力

担当教員 飯田 淳

受講アトリエ [601,602(901)] 修得単位： 1

2021/4/16(金)-2021/7/16(金)

13:30-16:30

授業内容

表現力は柔らかな発想のもと、物や事、ストーリーを色で表現する授業です。決めつけで物を作らず、固定概念に囚われない事。意外性のある課題を通して「自分の枠」を飛び越え、個性が重視されるイラストの世界に近づくための授業でもあります。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	金			○	オリエンテーション	
2	4月23日	金			○	制作	
3	5月7日	金			○	制作	
4	5月14日	金			○	制作	
5	5月21日	金			○	制作	
6	5月28日	金			○	制作	
7	6月4日	金			○	制作	
8	6月11日	金			○	制作	
9	6月18日	金			○	制作	
10	6月25日	金			○	制作	
11	7月2日	金			○	制作	
12	7月9日	金			○	制作	
13	7月16日	金			○	講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

課題ごとに指示する。

注意事項

出来る限り授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

英会話

担当教員 ティム・ウェイレン

受講アトリエ 【501】 修得単位：2単位

2021/4/16(金) -2022/2/4(金)

11:10-12:40

授業内容

海外の友達と会話するときや、芸術・デザインの世界の現場で英語を使うときでも、スムーズにコミュニケーションができるように、レッスンはフリートーク、リスニング演習、簡単なテキスト（プリント）の三つの部分に分けられています。リラックスした雰囲気の中で自分の英語力を伸ばしましょう。

授業スケジュール/計画

			指導	AM		指導	PM	備考
1	4月16日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
2	4月23日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
3	5月7日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
4	5月14日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
5	5月21日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	古美術研修引率の場合休講
6	5月28日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
7	6月4日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
8	6月11日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
9	6月18日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
10	6月25日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
11	7月2日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
12	7月9日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
13	7月16日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
14	9月3日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
15	9月10日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
16	9月17日	金	○	日本美術史A	英会話		実技カリキュラム	
17	10月1日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
18	10月8日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
19	10月15日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
20	10月22日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
21	10月29日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
22	11月5日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
23	11月12日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
24	11月19日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
25	11月26日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
26	12月3日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
27	12月10日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
28	1月7日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
29	1月14日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
30	1月21日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
31	1月28日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	
32	2月4日	金	○	日本美術史B	英会話		実技カリキュラム	

学習目標

芸術やデザイン分野で活躍しようと思っている人たちに役立つ表現および単語に焦点を合わせて基本英会話レッスン。

予習・準備物

授業がリモートではなく学校で行われるようになったら、ノートと筆記用具を持ってきてください。

注意事項

評価方法

評価については主に授業への参加頻度と出された課題に対する採点をもとに行います。

日本美術史A

担当教員 北 進一

受講アトリエ 【502】 修得単位：1単位

2021/4/16(金)-2021/9/17(金)

9:30-11:00

授業内容

最初に法隆寺金堂釈迦三尊像や玉虫厨子、広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像など飛鳥時代の仏教美術から始まり、奈良時代の興福寺阿修羅像や東大寺法華堂不空羂索観音像、平安時代の神護寺薬師如来像と東寺講堂諸仏、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像、平安仏画、鎌倉時代の運慶仏などの仏教美術を通観する。その後、平安末期の信貴山縁起絵巻や鳥獣戯画、室町時代の雪舟・雪村などの水墨画を取り上げ、古代・中世の日本美術の本質を探ってゆく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	金	○	リアルタイム授業：飛鳥・奈良(白鳳)時代の国宝仏像			
2	4月23日	金	○	リアルタイム授業：奈良時代の国宝仏像			
3	5月7日	金	○	リアルタイム授業：飛鳥・奈良時代の国宝絵画			
4	5月14日	金	○	リアルタイム授業：正倉院の絵画			
5	5月21日	金	○	リアルタイム授業：密教の成立と平安時代の国宝仏像			古美術研修引率の場合休講
6	5月28日	金	○	リアルタイム授業：平安時代の国宝仏像			
7	6月4日	金	○	リアルタイム授業：平安時代の国宝仏画			
8	6月11日	金	○	リアルタイム授業： 平安時代のやまと絵と四大絵巻			
9	6月18日	金	○	リアルタイム授業：平安時代の四大絵巻			
10	6月25日	金	○	リアルタイム授業：平安時代の四大絵巻			
11	7月2日	金	○	リアルタイム授業：鎌倉時代の国宝仏像			
12	7月9日	金	○	リアルタイム授業：鎌倉時代の国宝絵画			
13	7月16日	金	○	リアルタイム授業：水墨画の成立			
14	9月3日	金	○	リアルタイム授業：室町時代の国宝絵画			
15	9月10日	金	○	リアルタイム授業：室町時代の国宝絵画			
16	9月17日	金	○	リアルタイム授業：室町時代の国宝絵画			

学習目標

古代から中世までの日本美術は、東アジア文化圏の産物の一端として、そのイメージの源泉のほとんどを朝鮮半島や中国大陸に求めることができる。本講は、仏像・仏画・絵巻物・水墨画などを取り上げ、朝鮮や中国の作例と比較して、それらの造形（イメージ）の本質を具体的に追求してゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解釈という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。

予習・準備物

無し

注意事項

無し

評価方法

レポート提出

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

企画力

担当教員 岡山拓史

受講アトリエ [601、602] 修得単位： 単位

2021/4/15(木)-2021/7/15(木)

13:30-16:30

授業内容

個人が企画やアイデアを求められる場面は現代社会では非常に多くなっています。企画力ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの現場で必要となるスキルを課題制作を通して養います。そして社会との繋がりを意識してもらいます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	オリエンテーション / 課題制作A-1	
2	4月22日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作A-2	
3	5月13日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作A-3	
4	5月20日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作A-4	
5	5月27日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作A-5	
6	6月3日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	発表/講評	
7	6月10日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作B-1	
8	6月17日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作B-2	
9	6月24日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作B-3	
10	7月1日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作B-4	
11	7月8日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	課題制作B-5	
12	7月15日	木		Mac講座/者会とクリエイター	○	発表/講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをするのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

生活スタイルが大きく変わった昨今、自分の中で感じたこと、気づいたこと、社会の変化や未来、この課題制作の中で必要になることです。自分の中で整理しておいてください。

注意事項

クリエイティブな現場と同じようにグループで課題制作を進めます。欠席、遅刻をしないよう注意してください。

評価方法

課題提出による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

社会とクリエイター

担当教員 田中北斗

受講アトリエ [602] 修得単位： 単位

2021/4/15(木)-2021/7/15(木)

「社会とクリエイター」は「Mac講座A」と1限、2限で学生は入れ替わりで授業を受けます。

9:30-11:00 11:10-12:40

授業内容

毎回、講義を中心にプロのクリエイターに必要な知識や考え方を養います。授業時間内の後半では、様々なテーマに合わせ、各自の意見やアイデアを文章やラフスケッチなどで表現、提出。発表など行う場合もあります。

ゲストを招いたトークセッションでは、プロのクリエイターになるためのプロセスなどを伺います。質問コーナーも予定。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	木	○	Mac講座A	オリエンテーション	企画力	
2	4月22日	木	○	Mac講座A	講義「クリエイターになるために1」	企画力	
3	5月13日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク	企画力	ゲストを招いたトーク
4	5月20日	木	○	Mac講座A	講義「クリエイターになるために2」	企画力	
5	5月27日	木	○	Mac講座A	講義「社会を巻き込むアイデア1」	企画力	
6	6月3日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク	企画力	ゲストを招いたトーク
7	6月10日	木	○	Mac講座A	講義「社会を巻き込むアイデア2」	企画力	
8	6月17日	木	○	Mac講座A	発表「みんなのアイデアを聞こう」	企画力	受講生のアイデア発表
9	6月24日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク	企画力	ゲストを招いたトーク
10	7月1日	木	○	Mac講座A	講義「セルフプロデュース1」	企画力	
11	7月8日	木	○	Mac講座A	発表「私のセルフプロデュース」	企画力	受講生のアイデア発表
12	7月15日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク	企画力	ゲストを招いたトーク

学習目標

クリエイターになるための考え方（アイデアや企画）や社会との関わり方、コミュニケーションの大切さなどを講義とトークセッション（クリエイターを招いて）などから学ぶ。

予習・準備物

筆記用具：授業の後半に、質問やアイデアなどを「文章・ラフスケッチ」などの形で提出していただくことがあります。

注意事項

評価方法

授業態度 及び 提出物による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

MAC講座A

担当教員 高林直俊

受講アトリエ [401] 修得単位：1単位

2021/4/15(木)-2021/9/16(木)

* 「Mac講座A」と「社会とクリエイター」は1限と2限を学生が入れ替え制で授業を行います。

9:30-11:00 11:10-12:40

授業内容

前期では基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	木	○	オリエンテーション	社会とクリエイター	企画力	自己紹介・Macに触れる
2	4月22日	木	○	データ作成の基礎	社会とクリエイター	企画力	データ名・データ作成・データ送信
3	5月13日	木	○	Illustratorとは	社会とクリエイター	企画力	Illustratorに触れる
4	5月20日	木	○	Photoshopとは	社会とクリエイター	企画力	Photoshopに触れる
5	5月27日	木	○	スキャン・プリントの流れ	社会とクリエイター	企画力	スキャニングからプリントまでの手順
6	6月3日	木	○	Illustrator_基礎A	社会とクリエイター	企画力	Illustratorの基礎 基礎操作、ツール、図形、イラスト、文字の扱い方、印刷知識
7	6月10日	木	○	Illustrator_基礎B	社会とクリエイター	企画力	
8	6月17日	木	○	Illustrator_基礎C	社会とクリエイター	企画力	
9	6月24日	木	○	Photoshop_基礎A	社会とクリエイター	企画力	Photoshopの基礎 基礎操作、ツール、画像処理・合成など
10	7月1日	木	○	Photoshop_基礎B	社会とクリエイター	企画力	
11	7月8日	木	○	Photoshop_基礎C	社会とクリエイター	企画力	
12	7月15日	木	○	【課題 A】カード作成	社会とクリエイター	企画力	カード製作～講評まで
13	9月2日	木	○	制作 チェック	社会とクリエイター	企画力	
14	9月9日	木	○	制作 チェック	社会とクリエイター	企画力	
15	9月16日	木	○	講評	社会とクリエイター	企画力	

学習目標

イラストレーターやデザイナーなどデザイン業界に携わる立場になった際に、印刷物をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。またアーティストや他業種などの道を選ぶにしても自己アピールの際に必要な最低限のスキルを身につけます。

予習・準備物

毎授業USBメモリは必須となります。その他何か必要な場合は事前に告知します。

注意事項

課題も大事ですが、出席率は他の授業に比べかなり重視します。

評価方法

課題作品 50% 制作態度 50%

構成力

担当教員 山本哲次

受講アトリエ [602、601] 修得単位： 単位

2021/4/14(水)-2021/7/14(水)

13:30-16:30

授業内容

構成力は構図、レイアウトなど、組み立てる力をつける授業です。対象物をじっくり観察し、特徴を捉え、どういう構図やレイアウトがベストなのか、作品の分析や制作を通して身につけていきます。同時にデザインの考え方を学んでいく授業です。制作の一連の流れを体験しながら自分自身で作品を評価、分析することも学んでいきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	水		感性と表現	○	ガイダンス	オリエンテーション
2	4月21日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/観察・分析	
3	5月12日	水		感性と表現		シンボルマーク/描写	※各自、描写制作を進めること
4	5月19日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/色面構成	
5	5月26日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/マーク制作	
6	6月2日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/検証/評価	シンボルマーク講評
7	6月9日	水		感性と表現	○	フライヤー/分解・分析	
8	6月16日	水		感性と表現	○	フライヤー/アイデアスケッチ	
9	6月23日	水		感性と表現	○	フライヤー/構築・表現	
10	6月30日	水		感性と表現	○	フライヤー/構築・表現	
11	7月7日	水		感性と表現	○	フライヤー/構築・表現	
12	7月14日	水		感性と表現	○	フライヤー/検証・評価	フライヤー講評・構成力総評

学習目標

将来活動をする上で基本の「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。基礎力をしっかり身に付けることで、2年、3年の専門課程ができるようになります。「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」の5つの全てを習得することによって初めてプロとして必要な基礎力が身につきます。「構成力」は、表現においてのカタチの形成・構図・レイアウトなどに関わる重要な基礎の力です。デザインの基礎的な事や考え方を学ぶことを目標とします。

予習・準備物

筆記用具・スケッチ用紙。その他は授業初日に説明します。

注意事項

1. 制作本来の目的を意識し、事前の準備をしっかり行いましょう。
2. 遅刻・欠席が無いように注意しましょう。
3. 提出物の期限を守りましょう。
4. アトリエはキレイに使いましょう。
5. 授業・課題制作を楽しみましょう。

評価方法

制作態度・積極性60%（課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準とします）課題作品40%

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現1

担当教員 富岡由理弥

受講アトリエ [601,602,(901)] 修得単位： 単位

2021/4/14(水)-2021/6/2(水)

11:10-12:40

授業内容

クラシック音楽の基礎や、音楽の歴史などを学びながら、空間芸術に対して時間芸術がどのようなものであるかを学ぶ。さまざまなリズムや音が何を表しているのかをイメージし、想像力を養っていく。実際の実技も伴う。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	水	○	オリエンテーション アンケート、音楽と美術のつながり、 音楽の歴史など。		構成力	学校準備： CDがかけられる機材
2	4月21日	水	○	音楽修辞学。 各作曲家のエピソードなど		構成力	
3	5月12日	水	○	心の表現方法。音楽において言葉をど のように聴衆へ伝えるか。		構成力	
4	5月19日	水	○	リズムから言葉をイメージしていく。 想像力を養う。		構成力	
5	5月26日	水	○	腹式呼吸や発声を体験。声はどのよう に出ているのかを実感する。		構成力	朗読・表現の課題配布
6	6月2日	水	○	実技とレポート提出		構成力	

学習目標

芸術性を身につける為には広い視野で様々な芸術に触れる機会が必要。美術と音楽にも共通点があると考え、音楽の知識や感覚を少しでも知る事により、自身の作品に生かして貰いたい。

予習・準備物

注意事項

評価方法

実技及びレポートを提出による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

観察力

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [901.601.602] 修得単位： 単位

2021/4/13(火)-2021/7/13(火)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

観察力では単に描写力を鍛えるだけでなく、描くことを通して物事を深く見つめることのできる力を養っていきます。それはプロのクリエイターとして必要かつ重要なことです。じっくりと物と対話しながら描くことの面白さと大切さを学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	火	○	オリエンテーション/鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
2	4月20日	火	○	鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
3	4月27日	火	○	木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
4	5月11日	火	○	木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
5	5月18日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー(男性)	木炭紙大クロッキー帳・コンテ
6	5月25日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー(女性)	木炭紙大クロッキー帳・コンテ
7	6月1日	火	○	人体デッサン(男性座りポーズ)	○	人体デッサン(男性座りポーズ)	B3画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
8	6月8日	火	○	人体ヌードデッサン(女性寝ポーズ)	○	人体ヌードデッサン(女性寝ポーズ)	B3画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
9	6月15日	火	○	人体コスチュームデッサン(座りポーズ)	○	人体コスチュームデッサン(座りポーズ)	B3画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
10	6月22日	火	○	水彩描写(顔を描く)	○	水彩描写(顔を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
11	6月29日	火	○	水彩描写(風景を描く)	○	水彩描写(風景を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
12	7月6日	火	○	基礎油画	○	基礎油画	F12号キャンバス・油彩
13	7月13日	火	○	基礎油画	○	基礎油画/基礎油画	F12号キャンバス・油彩

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

技法力

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [601 602 他] 修得単位：1.5単位

2021/4/12(月)-2021/7/12(月)

13:30-16:30

授業内容

技法力は様々な技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロッターージュから始まりモノタイプと、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川浪浪裏」復刻版の版木をキーワードに、自由な表現による木版画、コラージュへと展開させてゆきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	月		学科	○	フロッターージュ	筆記用具
2	4月19日	月		学科	○	モノタイプ(トランスファー)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 鉛筆 ボールペン 新聞紙(あれば)
3	4月26日	月		学科	○	モノタイプ(スクラッチ)	
4	5月10日	月		学科	○	シルクスクリーン(原稿制作)	
5	5月17日	月		学科	○	シルクスクリーン(刷り)	
6	5月24日	月		学科	○	シリコンリトグラフ(版制作)	
7	5月31日	月		学科	○	シリコンリトグラフ(刷り)	筆記用具
8	6月7日	月		学科	○	浮世絵について(解説とデモンストレーション)	
9	6月14日	月		学科	○	木版画(正方形の版木を使って) 葛飾北斎(復刻版) 版木の摺り体験)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 鉛筆 ボールペン 新聞紙(あれば)
10	6月21日	月		学科	○	木版画(正方形の版木を使って)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 鉛筆 ボールペン 新聞紙(あれば)
11	6月28日	月		学科	○	木版画正方形の作品を使って) コラージュ(自分の作品を使って)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 ハサミ カッターなど(あれば)
12	7月5日	月		学科	○	木版画正方形の作品を使って) コラージュ(自分の作品を使って)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 ハサミ カッターなど(あれば)
13	7月12日	月		学科	○	講評会	筆記用具

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをするのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

●配信される技法の紹介動画の視聴(その都度告知します) ●鉛筆、ノート等の筆記用具 ●エプロン等の汚れても大丈夫な服装

注意事項

7/12に講評会を行います。制作した自分の作品管理をきちんとして置いてください。

評価方法

授業での積極性50% 提出課題50%

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

文章技法論

担当教員 太田克彦

受講アトリエ 【502】 修得単位：1単位

2021/4/12(月) -2021/9/27(月)

*留学生は日本語能力試験/美術日本語と選択

9:30-11:00

授業内容

伝えるための道具として言葉を使う前に、しりとりや回文、川柳といったナンセンスやリズムによる言葉遊びから始める。与えられたキーワードで絵を描いたあとから作文するという方法により、想像力を広げていく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	月	○	セルフポートレート…自己紹介		技法力	
2	4月19日	月	○	ことば遊び①アクロスティック(頭文字で綴る文)		技法力	
3	4月26日	月	○	ことば遊び②しりとり		技法力	
4	5月10日	月	○	ことば遊び③アナグラム(文字の並べかえ)と回文		技法力	
5	5月17日	月	○	ことば遊び④川柳		技法力	
6	5月24日	月	○	記憶のスケッチ		技法力	
7	5月31日	月	○	マインドマップ(次元を変えたメモの取り方)		技法力	
8	6月7日	月	○	オートマティズムの実験		技法力	
9	6月14日	月	○	夢を語る		技法力	
10	6月21日	月	○	オノマトペを楽しむ		技法力	
11	6月28日	月	○	民話のパロディをつくる		技法力	
12	7月5日	月	○	文章に笑いを入れる		技法力	
13	7月12日	月	○	1枚の絵ものがたり		技法力	
14	9月6日	月	○	へたに見せない文章のコツ(講義)		技法力	
15	9月13日	月	○	書評を書く		技法力	
16	9月27日	月	○	自作を語る		技法力	

学習目標

文章を書くことに対する苦手意識をまず払拭し、言葉を連ねる作業の楽しさを実感する。このトレーニングにより、言葉が美術制作をするときに、色や形や空間を構成するうえでより効果を上げていく役割を果たせるようにする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

レポートによる採点